

令和3年度 7月(第2回) 運営理事会議事録

日 時 : 令和3年7月14日(水) 19:00~20:40
本会議場および Zoom による Web 参加
出席者 : (会場) ナースプラザ福岡 3F 303 研修室
会 長 西浦明彦
副 会 長 外山洋子、倉重康彦
総務局長 池上新一
運営理事 荒木敏造、大久保文彦、木村賢司、生田幹博、新田誠、佐藤房枝
監 事 北里謙二
書 記 堀田飛香、市丸加奈子
事 務 局 金子千代美
(Web)
運営理事 加藤康男、緒方昌倫、坂本徳隆、田代恭子、長谷一憲
欠席者 : 監 事 柳本孝子

【議 事】 司 会 総務局長 池上新一

- ◇議 題
1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策 (8月以降) について 会長 西浦
 2. 理事・各部委員会等について 会長 西浦
 3. 新人研修会について 管理運営部長 荒木
 4. 第31回福岡県医学検査学会と2022年度日臨技九州支部医学検査学会 (56回) について 副会長 倉重
 5. 健康 21 世紀福岡県大会 会議報告について 副会長 外山
 6. 日臨技総会について 会長 西浦
 7. 日臨技事業 (ワクチン接種、タスクシフト) について 企画運営部長 木村
 8. 各部報告
 9. 各地区報告
 10. その他

◇会長挨拶 西浦明彦

学会も無事終わり、報告書を日臨技に提出したりしたところで、参加者からの評判もよく、皆さんの努力のおかげかなと感謝しています。来週からオリンピックも始まり、東京のコロナ感染者も増えてきており、福岡も増加が懸念されます。これも含め、今後の福岡県技師会の運営を決めて行かなければならないと思っています。ご協力お願いいたします。

1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策（8月以降）について 会長 西浦
福岡も本日95名の感染者と増加傾向にありますので、引き続き現在の体制を維持する。これに関連してですが、精度管理事業部の試料作成ですが、7月22日から4日間詰めて福大筑紫病院の検査室をお借りして行うとのことですが、まだ施設長への許可証も提出されていません。提出したうえで行わなくてははいけませんし、ワクチン未接種の試料作成者1名（福臨技元副会長 篠原氏）が関東圏から来ます。福大筑紫病院にご迷惑を掛ける結果とならないように対応しなくてははいけません。来福時にPCR検査を受けていただき陰性を証明し、2週間の活動記録も提出して頂こうと思います。今後の感染状況次第で施設の利用が出来なくなることも考えておかななくてははいけない。今は篠原氏抜きでは試料作成ができない状況であるが、この状況をいつまでも続けていくわけにはいかない。今年度中に我々だけで試料作成ができるように、人選を含め引き継ぎ等の教育やマニュアル作成に着手すること。篠原氏が必須なのは長時間に及ぶ濾過作業などを1人で行っており、深夜に及ぶ部分の作業の確認が出来ていない。今後も泊まり込むような作業は必要になってくる。
2. 理事・各部委員会等について 会長 西浦
別紙資料のように各部から変更や改善案を提出いただきました。引き続きの各部報告で報告をお願いします。また、各部、委員会等すべてに目を通していただき、共有して頂き、意見等あればメールにて検討していきたいと思えます。
3. 新人研修会について 管理運営部長 荒木
7月31日の新入会員研修会の申し込み状況は会員が32名、入会予定者が福岡より2名、筑後より3名の計37名です。開催形式は完全WEBです。提示している資料のように進めて行きます。リハーサルは行わないので、質問があれば問い合わせてください。注意点として、発表される方々は先にスライドを開いておいていただき、画面共有をしていただきます。各地区長さんは参加の呼びかけを今一度お願いします。
4. 第31回福岡県医学検査学会と2022年度日臨技九州支部医学検査学会（56回）について 副会長 倉重
来年度の事業となりますが、今年度から組織を編制して動いていかないと間に合いません。県学会は6月末か7月頭の日曜日。2021年度は中止が決まっているが、2022年度は順番で行くと筑後の担当となる。九州支部学会も11月5～6日で久留米シティ

ープラザで開催されるため、筑後で2つの学会が開催されることになるので、どうするか？田代地区長の意見を伺いながら、進めて行かなければいけない。開催条件次第でコンベンションも選ばなくてはならない。今回は問題定義だけとし、話し合いを進めて行きたいと考えている。来年度の事業であり、役員交代もあり、皆さんが残留されるのかもわからない状況ですが、進めて行かなくてはなりません。大久保学術部長より今年の九州支部医学検査学会も現在演題募集が行われているが、応募が少ない状況でもあるので、福岡での学会が重なると演題登録が少なくなることも予想されるので、福岡県医学検査学会は中止してもとの意見があった。この意見も含め、次の理事会で検討する。

5. 健康21世紀福岡県大会 会議報告について 副会長 外山
7月7日に福岡県庁にて健康21世紀福岡県大会の会議が行われました。昨年はコロナ感染症の関係でこの行事は中止となりました。10月3～17日の日程でWEB開催となりました。参画している約20の団体が動画コンテンツを作成し、それを放映することになっています。公益事業ですので生田部長にお願いしようと思います。今までは体験型として行って来ていましたが、今回はWEB配信ですので、健康に関心を持つような健康診断に関する配信だったりとなると思います。7月28日までにまずは参加するのかの返事をしなくてはなりません。(参加することで全理事承認)

6. 日臨技総会について 会長 西浦
6月26日にWEBにて行われました。総会は成立しています。1～3号議案、事業報告、決算報告、役員既定の改訂について、全て承認されました。

7. 日臨技事業（ワクチン接種、タスクシフト）について 企画運営部長 木村
臨床検査技師のワクチン接種に関する座学研修が6月18日より行われており、現在276名の福臨技会員が受講している。臨床検査技師の接種は大規模接種に限定されており、福岡県に確認したところ、医師・看護師ともに充実しているため、臨床検査技師にお願いすることはないと言われています。必要とされることになれば、受講者名簿を提出し進めて行きます。西浦会長より、福岡県技師会として、今回の一連の対応をまとめて、早急に会員に向けて発信する必要がある。戸惑っている会員も多いと思うので、早急に発信すること。理事会で報告するだけでは何の意味もない。職域接種に関しては、施設が技師を指名する場合は行政と施設間で了解をとり、実技をクリアすれば接種が可能となります。
タスクシフトシェアについてですが、10月1日～法律が施行されるとのことです。WEB研修を受けていただいて、実技講習を受けていただくこととなります。WEBが700分、実技が360分です。シミュレーション研修会が8月8日に東京で開催されます。こちらに参加しどういったものかを確認したうえで、9月25日に純真学園大学にて第一回の実技講習会を予定しています。これに参加した方は実技指導者になっていただきますので、今後5年間携わっていただくこととなります。西浦会長より、時間もない状況になっているので実技講習を受ける19人の名簿を早急に作成し、各理事にメールにて配信し、承認を受けること。

8. 各部報告

●管理・運営（荒木）

資料に沿って、発送文書と会費納入者の報告あり。

今後の組織について（資料有）内容によっては企画運営・広報と連携する。職業紹介については広報・情報管理と考える。PCセンターはITシステムセンターと名称を変更したい。人員については現状のままとする。保有PCは15台あるので、年2台ずつ入れ替えを考えている。総務・発送委員会については広報と共同作業を行っており、管理・広報委員会としたい。表彰に関して、総務局長が様々な審査書類の作成を行っているが、表彰委員会の下部組織として、表彰候補者書類作成委員会を新設したい。企画や情報とも似かよった業務もあるので、新たに事業部を設けてはと考えている。これについては西浦会長より、各部が行うべき業務をきちんと整理し、振り分けを行うことで、新たに事業部を設ける必要はない。

●財務管理部長（加藤）

資料を提示し6月の会計報告。

今後の組織について（資料有）予算委員会、予算準備委員会を期限を決めてスタートさせます。

●学術部長（大久保）

WEB 研修会の開催状況報告。技師会の二重登録者が2名います。福臨技研修会参加のためようです。資料を提示し、共催に関して今は何も規定がない状況です。生理検査部門で1企業と共同で勉強会をしたいとの申し出があったので、これをきっかけに整備してはどうか。西浦会長より内規として素案の作成が指示され、年内完成を目標に理事会で検討を重ねることとなった。

今後の組織について（資料有）学術奨励基金に関することを追加しました。内外学術団体との交流、認定制度については企画運営部とも考えられますので、今後検討していきます。

●精度管理（坂本）

月例サーベイの参加施設への請求書を7月中には発送します。先ほどの話の九州ロットの試料作成については許可いただきましたので、進めて行きます。7月8日に福岡県医師会精度管理調査研究会の第一回委員会が開催されました。

今後の組織について（資料有）九州精度管理研究会は県の事業とは関係がないので削除した。精度管理解析に関して、是正処置報告書の作成が厳しく問われることになると思われるので、相談窓口を開設したい。月例サーベイの担当部隊的なものを設けている。精度管理分野が広がることが求められている。既存の月例サーベイシステムではすべての拡張に対応できない。これについては日臨技のシステムの活用も視野に考えている。日臨技の施設認証は品質保証に代わると思われるので、柔軟に対応していく予定。

●広報・情報管理（緒方）

資料に沿って、発送作業終了報告。

広報・情報管理臨時会議を行った。荒木、木村運営理事にも参加いただいた。議題はホームページリニューアルとPCセンターの組織変更について。資料を提示し

会議の内容の説明が行われた。

今後の組織について（資料有）管理運営部からの報告と重複する提案となりますので、そちらの発言をご参照ください。

●企画運営（木村）

特になし。

●公益事業部長（生田）

昨日、福岡県糖尿病教室は中止となるとの連絡あり。

今後の組織について（資料有）国際交流事業は公益事業としてはとの意見があり、検討事項とする。

西浦会長より各部執行業務の総括として、三役（総務局長と副会長）と各部相談しながら、分担して進めて行き、修正を行いながら今年度中にきちんとしたものとしたい。

9. 各地区報告

●福岡地区（新田）

資料に沿った会議報告。

●北九州地区（佐藤）

資料に沿った会議報告とWEB研修会の開催報告。

●筑後地区（田代）

資料に沿った研修会報告。

●筑豊地区（長谷）

資料に沿った予定報告。期日は未定である。

10. その他

◇共催申請 0件

◇後援依頼 1件

第14回県民公開医療シンポジウム（2021.9/18 開催 / 福岡県病院協会）

全理事反対意見なく、承認となった。

その他

- ・佐藤地区長より、福臨技からのメールで日臨技や厚労省からの情報を流していただくが、地区の会員に情報提供してよいものか判断に困る内容のものがあるので、表記して頂ければと思います。福臨技事務局より「開示可」の文章を記入することとする。
- ・北里監事より、今年の日臨技事業の全国「検査と健康展」は行うのか？西浦会長より中止との報告。
- ・大久保学術部長より、先ほども話したが、二重登録者については議論の余地があるのではないかと。西浦会長より、九州各県は学術参加がOKであるので二重に入る必要はないが九州以外の二重登録は問題ない。1人は神奈川で1人は佐賀県。事務局より、佐賀県の方は福臨技主催の勉強会は福臨技会員の受付が優先となるので、確実に聴講が出来るようにあえて入っているそうです。

議事録作成 令和3年7月20日
池上新一

議事録署名

_____印 _____印 _____印